

『Mind Charging』

第 40 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 5 月 25 日

マルセル・プルーストの名言



The real voyage of discovery consists not in seeking new landscapes, but in having new eyes.

真の発見の旅とは、新しい景色を探すことではない。新しい目で見ることなのだ。

作家である彼ならではの『新しい目で』という表現ですが、常に新鮮な気持ちで物事を見ることが重要だというメッセージに感じます。経験は人生において非常に重要なことですが、『マンネリ』という言葉があるように、『経験＝固定概念(ワンパターン)』になってしまう危険性もあります。

登校して、授業を受けて、部活に参加して、下校して……。という『リズム』を単調に感じてしまい、きっと明日も今日と変わらない 1 日だろうと思ってしまうと、結局そうになってしまうものです。現在の感染防止特別指導期間に入ったばかりの頃と今とでは感覚が全然違うのではないのでしょうか。普段ならどこかに出かけたりしてリフレッシュ(新しい景色を見る)できますが、今はそれもできないので『退屈』だと思ってしまうかもしれません。そういう意味ではまだ新しい目で見れず、『受け身』でしかないということになります。

右目だけ、左目だけで見ると目の前の景色は『少しだけ』角度が違って見えます。少しだけでは新しくないのでしょか。少しだけでは本当に発見とは呼べないのでしょうか。そんなことはないと思います。逆に少しだけの変化を発見と感じられたら、少しの変化も見逃さないように物事や日々の景色を注意深く観察することができたら、発見だらけで退屈する余裕なんてなくなってしまうかもしれません。あなたは、あなたの家の中を本当に全て知っていますか？自信を持って『はい』と言えますか？誰かのいうことや、今までの経験でさえデータとして使えないほど激動の時代です。いつも新鮮な気持ちで様々な物事に向き合い、新たな発見を楽しんでいきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

ヴァランタン＝ルイ＝ジョルジュ＝ウジェーヌ＝マルセル・プルースト(フランス語: Valentin Louis Georges Eugène Marcel Proust, 1871 年 7 月 10 日 - 1922 年 11 月 18 日)は、フランスの小説家。畢生の大作『失われた時を求めて』は後世の作家に強い影響を与え、ジェームズ・ジョイス、フランツ・カフカと並び称される 20 世紀西欧文学を代表する世界的な作家として位置づけられている。(Wikipedia 参照)